

「能登地域トキ放鳥推進ロードマップ」の策定の考え方

佐渡市での取組事例を参考に、放鳥時（早ければ令和8年度）における**目標を設定**し、その達成に向けて必要な取組を計画的に実施

<目 標>

生息環境整備

【餌場の確保】約700ha（水稲作付面積の7%）

【営巣環境の保全】20カ所を確保

社会環境整備

【観察マナーの啓発】 県民の観察マナーの醸成

【トキ放鳥推進人材 の参画・養成】	畦の草刈り等へのトキめきボランティアの参画	
	餌場確保や営巣地保全等の指導を行う人材の養成	30人
	観察マナーの啓発等を行う人材の養成	60人

放鳥に備えた検討

【風力発電や害獣など、佐渡市にない課題の研究】 対応方法の確立

地域活性化

【地場製品のブランド化のための戦略策定】 ロゴマーク・キャッチフレーズ・関連商品の作製、トキとの共生の気運の醸成

能登地域トキ放鳥推進ロードマップ

項目	R4 <着手>	R5 <実行元年>	R6 <加速化>	R7 <仕上げ>	R8 <放鳥>
生息環境整備	【生息環境調査】 【餌場の確保】 ●モデル地区の選定・整備 (市町毎に1カ所→計9カ所) 【営巣環境の保全】 【天敵対策】 【事業活動における生息環境への配慮の要請】 ●トキと共生する里地づくりネットワーク協議会(取組状況や課題の共有) ●関係団体とのネットワークの構築(各種取組の情報共有)	●生息環境調査の実施 ●モデル地区の管理・生きもの調査 ●民間提案技術による耕作放棄地の餌場化 ●営巣候補林の選定 (市町毎に1カ所→計9カ所)	●モデル地区の取組の横展開 ●民間提案技術の検証を踏まえた耕作マニュアルの作成 ●営巣林保全マニュアルの作成 (薬剤の樹幹注入、松くい虫被害木の伐倒処理、間伐) ●天敵分布状況調査 (テン・イタチ・タヌキなど)	●営巣候補林の保全 ●天敵対応マニュアルの作成(営巣木への波板設置など) ●天敵対応の実践訓練 ●マニュアルの作成・普及	
	【農業者等に対する理解促進】 ●シンポジウムの開催 ●佐渡市視察 【子ども達に対する環境教育】 ●教材の作成 【観察マナーの啓発】 【トキ放鳥推進人材の参画・養成】	●いしかわトキの日(5月22日)の制定 ●環境教育の実施	●観察マニュアルの作成 ●地域で餌場確保や営巣地保全等の指導を行う人材の養成 ●地域で観察マナーの啓発等を行う人材の養成	●いしかわ版「トキのみかた」の作成	●いしかわ版「トキのみかた停留所」の設置 (放鳥後、タイミングを見て設置)
	【風力発電や害獣など、佐渡市にない課題の研究】 ●先進地ヒアリング、専門家ヒアリング 【放鳥したトキのモニタリング体制や救護体制の構築】		●モニタリング体制の構築・運用 ●トキの観測地点・餌生物・営巣林等のデータベースの構築・運用	●傷病トキ発見時の連絡・搬送・治療体制の構築・運用	
	【放鳥したトキのモニタリング体制や救護体制の構築】 ●環境省に対する放鳥要件や放鳥方法の早期提示等の要望(方針決定後、必要な検討を追加で実施)				
	【地場産品のブランド化のための戦略策定】 ●ブランド化専門委員会の設置 ●ロゴマーク、キャッチフレーズ等の作成 ●キャラクター商品開発 ●商標登録 ●米などの農林水産物のブランド化に向けた検討 ●環境保全型農業技術の確立・実証 【交流人口の拡大】		●トキとの共生の気運の醸成 ●モデル地区等で生産した米の販路確保	●トキツーリズムの構築 ●旅館、ホテル、旅行会社従業員への啓発	
				●次期計画の策定(具体の放鳥計画と放鳥後の定着化計画)	